

## マイロック エントランスオートロック設置事例 ～ パラシオンFJ (名古屋市中区)



今回マイロックを設置したのは名古屋市中区にある60戸の賃貸マンションで、2ヶ所のエントランスにそれぞれマイロックを設置しました。

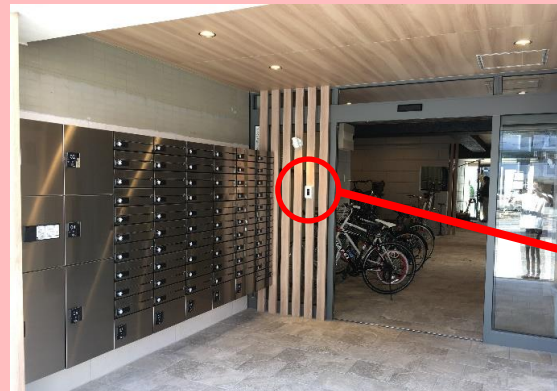
こちらの物件は名古屋市中心部からも近く、さらには地下鉄の駅より徒歩5分内にあり非常に利便性が高い反面、エントランスにオートロック機能が無いため、2ヶ所ある出入り口を通り抜ける通行人もいてオーナー様が悩んでいらっしゃいました。

そこで大規模改修に併せて、部外者侵入防止とセキュリティ強化のためエントランスをオートロック化することになり、こちらの物件に合わせたオーダーメイドによるオートロックシステムを導入いただきました。

### 南側エントランス

両開きのドアにマイロックVF-10を設置しました。100V仕様にカスタマイズし、停電などの非常時には電池式に切り替わります。

北側エントランスと共通のICカードで解錠でき、入居者様は一枚のカードで自動ドアもマイロックも開けることができます。



### 北側エントランス

玄関にあたるエントランスです。従来ある自動ドアにマイロックVリーダーを設置しました。今回のVリーダーは制御部分離型でエントランス外側にはカードリーダーのみ設置しています。このリーダーにICカードをかざすと自動ドアが開きます。

新たに施した縦格子の装飾ともマッチしてスマートな仕上がりとなりました。



### エントランス内側

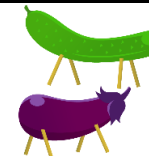
左: Vリーダー制御部です。

右: 遠隔解錠システムです。来客や宅配が来た場合、携帯電話で連絡を取った後、各部屋から無線のリモコンで自動ドアを開けることができます。今回は60個のリモコンを制御するためシステムを2つに分け電波の混線を防ぎました。

※インターホンではない電話による対応について  
こちらの物件は、エントランスに集合機(インターホン)が設置されていないため来客時などは携帯電話で入居者様に連絡を取っていただくシステムとなります。

- ・入居者の電話番号を知っている人しか入館できないため、セキュリティ性が向上する。
- ・室内工事が無いため入居者様との日程調整の必要がなく工期を計画通りに進めることができる。
- ・配線工事が少ないため設置コストを下げる事ができる。などのメリットがあります。





## セキュラトピックス ～ 過去のセキュラかわら版

6月号にてお伝えした通り、かわら版の発行が数度の休載をはさみながら200号を迎えました。紙面にて感謝の気持ちをお伝えしたところ、思いの外反響をいただきました。

そこで、過去のかかわら版をほんの一部ではありますが紹介します。

### マイロックSを取り付けたドアです。



およそ18年前の設置事例です。写真は生島ヒロシ氏と一緒に写るセキュラ会長(当時社長)の藤井です。これは当時藤井がTV番組出演をきっかけに生島ヒロシ氏の自宅にマイロックを設置した時のものです。

生島氏はこの後もセキュラが出展した展示会などに足を運んでくださいました。



2002年9月  
マイロックSが広島県生活安全防犯協会の優良防犯機器として紹介されました。

また当時広島県免許センターに常設展示されていました。

### 運転免許センター常設展示



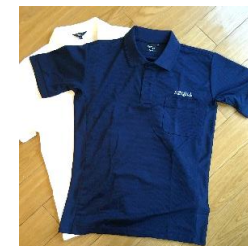
※ちなみに現行のマイロックVシリーズは、東京・大阪の防犯協会連合会の推薦をいただいています。

参考資料：2002.9.20 広島県安全まちづくり講演会



## “夏用ポロシャツ”作りました

日本各地で梅雨明けを迎え、本格的な夏の到来となりました。暑い夏を全員一丸で乗り切るために全社員共通の社名ロゴ入りのポロシャツを製作しました！「軽くなった」「動きやすい」といった声が上がリ、社内の評判はすこぶる上々。今後もクールビズの一環として社内に浸透することになると思います。



## セキュラ掲示板

### 8月夏季休業のお知らせ

弊社では以下の期間中を夏季休業とさせていただきます。ご了承の程、宜しくお願い申し上げます。

**休業期間 令和2年8月13日(木) ～ 令和2年8月16日(日)**

なお、出荷業務および製造等の混雑の恐れがあります。余裕を持ってご発注いただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 今月の言葉 『続けてきてよかったと思っています』 大相撲：照ノ富士関

初場所以来、観客を入れての開催となった大相撲7月場所。大関経験者で今場所幕内に復帰した照ノ富士が、平成27年夏場所以来、およそ5年ぶりの優勝を果たしました。

照ノ富士関は5年前に大関に昇進、その強さから「横綱にもっとも近い大関」とまで言われ期待されていました。

しかし、その後は怪我や病気のため休場が続き、序二段まで番付を下げてしまいました。(大相撲では上から幕内・十両・幕下・三段目・序二段・序ノ口の6つの階級があります。そのうち「関取」と呼ばれ、かつ給料がもらえるのは十両以上です。)

何度も辞めようと親方に相談したそうですが、親方は「辞めるにしても辞めないにしてもまずは怪我を治すこと」と受け入れてはもらえなかったそうです。

なかなか戻らないこれまでの力、そして元大関が序二段の若手に混じって相撲を取ることでプライドを大きく傷つけられたこともあったかもしれませんが、それでもあきらめずに怪我や病気と闘い、そして稽古に励み続けた結果が今回の優勝に繋がったのだと思います。

続けることの大切さ。時には困難や苦痛を伴うこともあるかもしれませんが。しかしそこから目を背けずに向き合いチャレンジすることで、力や技量あるいは自信が身に付き、そこで体得したものが良い結果へとつながるのだと思います。

『継続は力なり』を照ノ富士関はみごと体現してくれました。